

一般質問



前田 治 議員



録画映像

児童クラブ開設に関する件

問 茂辺地児童クラブの開設に係る取り組みの現状は

答 市長
開設には至っていないが引き続き検討していく

問 第2次北斗市総合計画では、「茂辺地・石別地区の資源を活かし、魅力の発信に努めるとともに、交流人口、移住・定住者の増加を図る」とし、積極的な対策が進められてきました。

しかし、その一方で高齢化はさらに進行し、人口減少問題においても改善の兆しが見えていない現状です。

その理由として様々あると思いますが、児童クラブの開設が実現しないことなどにより、若い世代の移住・定住が進まないことも要因の一つと考えています。

以下の点についてお伺いします。
(1)茂辺地児童クラブ開設の取り組み現状と今後の見通しについて。

(2)児童福祉の公平な提供は市政の基本と考えるが、茂辺地以外にも校区内に児童クラブが設置されていない小学校がある



石別児童クラブが設置されている石別小学校

ことへの認識と今後の計画について。
答(市長) (1)平成31年に地域主導で検討してきたが、開設には至っていません。

茂辺地地区の開設については、持続可能な運営ができる体制等を念頭に今後も引き続き検討してまいります。

(2)茂辺地、沖川、島川の3小学校区には、児童クラブが開設されていません。

今後の計画については、総合的に判断し、開設に向けた検討を行い、児童福祉の公平な提供に努めてまいります。

問 共稼ぎの家庭であっても、茂辺地に定住できるよう、しっかりと児童クラブの開設をお願いしたい。

また、石別児童クラブの開設継続は大丈夫か。

答(民生部長) 茂辺地地区の開設の検討は引き続き行ってまいります。

また、石別地区の児童クラブについては、当然継続できるように努力をしてまいります。

熱中症対策に関する件

問 全ての小・中学校の教室にクーラー設置を

答 市長
様々な方策と併せて検討していく

問 今夏、災害級とも言うべき猛暑が続きました。

多くの専門家や国連などは、夏の異常な暑さは今後も続き、さらなる猛暑傾向となると警告しています。

以下の点についてお伺いします。
(1)今夏の猛暑についての市長の認識について。

(2)今年の内での熱中症が疑われる市民への救急車の出動件数について。

(3)来年以降の熱中症対策をどのように行うかについて。

答(市長) (1)8月10日に渡島・檜山地方には今年初めてとなる熱中症警戒アラートが発表されました。

その後も8月24日には、本市で観測史上最高となる34.5度を記録し、渡島・檜山地方には4回、熱中症警戒アラートが発表されるなど、記録的な暑さが続いた夏であったと認識しています。

(2)5月1日から8月31日までの北斗消防署の搬送実績は44件となります。

(3)各家庭において、自助として対策をしていただくことが重要であると考えています。

こまめな水分補給の必要性や保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やすなど、熱中症予防に関する情報の周知を強化してまいります。

また、公共施設の開放については、貸館の状況によって制約もあることから、今回の利用実績や来年の気象状況などを勘案し、検討してまいります。

問 伊達市の小学校で2年生の児童が熱中症で倒れて亡くなったという痛ましい事故がありました。

嚴重警戒と言われる28度以上となる高温が、7月から8月いっぱい続きました。

この状態では授業にも集中できないし、学校生活も大変です。

北斗市においても全ての小・中学校の教室にクーラーを設置する必要があるのではないかと。

答(市長) 市民の生命と財産を守るということは私の使命でもありますから、どのような熱中症対策をやっていくのかは、今後検討してまいります。

小中学校でいえば、夏休みの期間の変更など様々な方策を検討しなければならぬのですが、当然、前向きに考えていかなければならないと思っています。